

## はじめに

(公社) 京都府青少年育成協会では、明るい家庭づくりや青少年の豊かな心を育むため、小学生を対象とした「明るい家庭づくり(家庭の日) 絵画展」、中学生を対象とした「少年の主張京都府大会」の二つの公募事業を行っています。

「明るい家庭づくり(家庭の日) 絵画展」は、小学生の目から見た家族や家庭内での微笑ましいふれあいを絵に表現することを通して、子どもたちの健やかな成長にとって家庭の役割の大切さを再認識することを目的として実施しています。第二十四回となる本年度は、四十九校から四百八十三点の心温まる絵画作品の応募をいただき、知事賞には、萩田廉平さん(木津川市立城山台小学校三年生)の作品が選ばれました。入賞された作品二十三点及び佳作三十五点による入賞等作品展を一月六日から五月六日にかけて、府内十八箇所で行います。(※佳作は、お住まいの市町村の会場のみ展示し、京都府庁会場は入賞者のみ、城陽市立の佳作は久御山町会場に展示します。)

「少年の主張京都府大会」は、人格を形成する上で重要な時期にある中学生が、日常生活の中で感じていることや考えていることなどを自分の言葉でまとめ、それを「少年の主張」として広く訴える機会を設け、社会の一員としての自覚と行動を促していくことを目的として、昭和五十四年度から実施しています。第四十二回の本年度は、二十三校から千五百八十六編の素晴らしい作文の応募をいただき、事前審査委員会で選出された十七名の中学生が、京都府大会において主張を発表しました。

京都府大会で京都府知事賞に輝いた白岩璃奈さん(京田辺市立培良中学校二年生)は京都府代表として、十一月に開催された全国大会(Meeting開催)において、国立青少年教育振興機構努力賞を受賞されました。

御応募いただいた小学生・中学生の皆さんをはじめ、事業の実施に御支援・御協力をいただきました学校や保護者の皆様並びに関係機関・団体の皆様、さらには熱心に作品の審査をしていただきました審査委員の皆様方に心から感謝とお礼を申し上げます。

この冊子では、それぞれの事業で入賞された作品を紹介しております。御高覧いただき、小学生の抱く家庭の温かさ、中学生の思いや主張をそれぞれの作品から感じ取っていただければ幸いです。

そして、これらの事業が応募いただいた皆さんの心の成長の一助となりますことを願いますとともに、取組の裾野が広がり、青少年の健全育成の輪が一層広がっていくことを期待します。

令和三年一月

公益社団法人京都府青少年育成協会

会長 上田 静 男